

《一般の部》

一席 沖繩県知事賞

恋路語らたる 故郷の白浜や

この歳なてをても 名残立ちゆさ

伊藝 峯子

恩納村長賞

鉄の暴風の 吹きやる島浜も

今やふたかちやの 波声聞きゆる

米須 盛祐

優秀賞

若さたる頃に 古里の浜おりて

夜すが語らたる 人の愛しや

饒平名 治子

奨励賞

波に揉まれやり 真白しだされて

島に果報招く 浜の真砂

上原 仁吉

奨励賞

里と浜下りて 語らたる昔

夢の間にしりて 今年百歳

糸数 秋子

奨励賞

寂ししやや一人 古里の浜下りて

白波と語たる 秋の今宵

米須 好子

奨励賞

何の訳のあても 海荒らち呉るな

清ら海と浜や 沖繩の命

神里 千代子

奨励賞

月の夜の浜に 下りて語らたる
恋し面影の 忘れぐれしや

知念 初美

奨励賞

人や世に揉まれ 肝心みがき
波に揉まれゆる 浜の真砂

上原 直子

奨励賞

他国に暮らち 沖繩の沙汰聞けば

喜瀬 普二男

覚出しゆさ昔 浜のお月

入選

昔語らたる 白浜のあそび

新垣 栄喜

若さ懐かしやや 浜に残ち

入選

頼む里いまぬ 恩納白浜に

さびさびと照ゆる 月と語て

登川 清子

入選

夫婦愛がなと 谷茶浜下りて

磯のさざら波 連れて遊ぶ

伊波 興福

入選

辺野古砂浜に 新基地や要らぬ

禍わざはひの種と 成ゆるゆえに

仲宗根 政一

入選

渡口浜下りて 夜すが語らたる

人のしなさけの 忘れぐれしや

宇根 節子

入選

夕間暮の浜に 波声と連れて

鳴き渡て行きゆる 浦の千鳥

宮城 久子

入選

のどか白浜に 嵐吹く辺野古

まこと平和世や いつかなゆら

古堅 宗明

入選

眺めても飽かぬ 恩納きよら浜や

いつの世になても 変はて呉るな

大城 美幸

入選

星の夜のきよらさ 海風の香ばしや

恩納白浜や 天河原如さ

花城 隆

入選

昔覚出ぢやち 浜下りてみれば

打ち寄せる波に 肝や童

宮城 優子

入選

よそ目気にかかる 月の夜の浜に

語らたる恋路 忘れぐれしや

島袋 博文

入選

月の夜の浜に 友小おし揃て

若さ肝なやり 遊ぶ嬉しや

伊佐 好子

入選

三月になれば 村の女童の

浜遊びしゆたる 名残立ちゆさ

仲里 タツ子

入選

恩納白浜の 白雪の真砂

おれが上をとて 恋よ語ら

玉城 倭子

入選

七曲がりまがる 恩納浜長げさ

七色の海や 与所に勝て

長嶺 八重子

入選

恩納白浜に 照る月やさやか

かなしみやらべと 思ひ語ら

糸満 盛男

入選

さやか照る月に 白浜のきよらさ

愛し思里と 語るうれしや

糸満 美代子

入選

面影の立たば 月の浜いもうれ

恋忍ぶ浜や 語れどころ

外間 啓子

入選

月の夜やさやか 浜下りて遊で

時せつも忘れて な夜や明かち

仲村 千代

入選

古里出ぢて与所に 暮らし方しちも

忘れ難なさや わ古里浜よ

天久 明子

入選

浜風よ袖に 車椅子妻の

手上げ大笑ひ 見るも嬉しや

比嘉 恒夫

入選

北や名嘉真から 宇加地までつなぎ

とよむきよら浜や 村の宝

長浜 利子

入選

うきやりひく波に すすぬらち遊ぶ

童達の笑ひ声 浜にひびき

喜友名 和子

入選

夕間暮の浜や 波の音ばかり

おてる赤太陽や 雲もそめて

長浜 晴菜

入選

恩納白浜に 里連れて遊で

恋語れしきやす 昔なため

宮里 良子

入選

移民百年に 笠戸丸偲で

訪ねたる浜に 思ひのこち

田中 千恵子

入選

月の浜向かて 伊計離れ見れば

照り返す波の 色のきよらさ

伊波 シゲミ

入選

情ある人の　い言葉の愛しや

恋しあの浜に　匂残ち

新城 幸子

入選

恩納白浜に　照らす星星や

あにきよらさ光て　宝玉の如さ

仲村 美保

入選

浜下りて遊ぶ 島のわらん達きやや

世界めぐる波に 夢よ乗せて

新垣 光枝

入選

宇加地前の浜に 銭五貫落とち

おれとめりなづけ 思子しのば

長浜 ハル

特別賞

太陽に願かけて 月に祈り込み

浜に遊びゆる 孫守り

田里
ツル

特別賞

若夏になれば 浜下りて遊ぶ

わらんきやの姿 目の緒さがて

慶留間
知廣

特別賞

お真人の宝 辺野古浜だいのもの

クイや打ち呉るな 大和大主

眞栄城 昭子